

平成 23 年 5 月 12 日

報道関係各位

福生市（ふっさし）が変わります！
「コミュニティビジネス」「住環境」「教育」をテーマに、これからのまちづくりを考える
福生市「魅力あるまちづくりシンポジウム」
～市民による「わがまちの宝探し」発表会も～

開催のご案内

日 時 : 平成23年6月11日(土)、12日(日) 両日共、午前・午後2部開催
場 所 : 福生市民会館つつじホール(小ホール)
参加費 : 無料(各回約200名)
[後援: 総務省 / 協力: 福生市公立小中学校PTA連合会]

東京都福生市(市長:加藤 育男)では、来る6月11日(土)、12日(日)の2日間、福生市のこれからのまちづくりを考える「魅力あるまちづくりシンポジウム」を福生市民会館にて開催します。

全国の各自治体の共通の課題として、人口の減少があります。福生市においてもここ数年人口が減少しており、人口流出を抑制することが行政としての大きな課題となっています。

福生市では今年度より、市の魅力を市民のみならず市外の皆さまに、様々なかたちで情報発信していくため、「シティセールス推進課」を設置し、「まちの魅力創造担当」という部門も設けました。

まちに内在する地域資源を掘り起こして再発見したり、ご当地グルメ“福生ドッグ”のような、新たな地域資源を創造したりと、歴史と文化、名所旧跡などの観光資源に加え、“東京アメリカン”と呼ばれる古くて新しいまち、福生市を魅力あるまちに変える取り組みが始まりました。

「魅力あるまちづくりシンポジウム」では、新しい公共の実現と安全安心な人づくり、まちづくりを目指し、「コミュニティビジネス」「住環境」「教育」をテーマにした基調講演、有識者によるパネルディスカッションのほか、福生市民による「わがまちの宝探し」発表会を行います。

また、3月11日に発生した東日本大震災を教訓として、防災の観点から魅力あるまちづくりについての話題も予定しています。

本資料をご参照の上、イベント情報としてご掲載をいただければ幸いです。
ご検討の程宜しくお願いいたします。

【開催概要】

名称:福生市「魅力あるまちづくりシンポジウム」

日時:6月11日(土)午前の部 10:00~12:30 / 午後の部 14:00~16:30

12日(日)午前の部 10:00~12:00 / 午後の部 14:00~16:30

場所:福生市民会館つつじホール(小ホール)

参加費:無料(各回約200名)

後援:総務省

協力:福生市公立小中学校PTA連合会

本事業は、全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を財源としております。

6月11日(土)

<p style="text-align: center;">午前の部 10:00~12:30 (開場 9:30)</p>	<p>テーマ「コミュニティビジネス」 基調講演「コミュニティビジネスで地域活性化ができるか」 木下 斉(一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス代表理事) パネルディスカッション 細野助博(中央大学大学院教授) 木下 斉(一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス代表理事) 山下真一(福生市商工会 会長) 吉田恭子(NPO法人エンツリー理事長)</p>
<p style="text-align: center;">午後の部 14:00~16:30 (開場 13:30)</p>	<p>テーマ「住環境」 基調講演「住を演出してまちの魅力づくり」 角田朋哉(森ビル株式会社) 基調講演「福生・古みらい計画 『歴史的環境を活かした住環境とまちづくり』」 小椋祥司(フォレスト建築研究所) パネルディスカッション 細野助博(中央大学大学院教授) 角田朋哉(森ビル株式会社) 小椋祥司(フォレスト建築研究所)</p>

6月12日(日)

<p style="text-align: center;">午前の部 10:00~12:00 (開場 9:30)</p>	<p>市民による「わがまちの宝探し」発表会</p>
<p style="text-align: center;">午後の部 14:00~16:30 (開場 13:30)</p>	<p>テーマ「教育」 基調講演「特色のある教育とまちづくり」 鈴木 寛(文部科学副大臣) パネルディスカッション 細野助博(中央大学大学院教授) 鈴木 寛(文部科学副大臣) 長谷川貞夫(福生市教育委員会 委員長) 山崎源太(福生市公立小中学校PTA連合会元事務局長)</p>

講師プロフィール

細野助博(中央大学大学院教授)

1949年生まれ。慶応義塾大学経済学部卒業、同大学院経済学研究科修了。専門は産業組織論、公共政策論、都市政策論など。

市街地活性化、コミュニティ政策などを中心に、都市政策全般の実証分析研究を行っている。福生市商業活性化検討委員会座長を務め、2009年、2010年とまちの魅力向上に向けて商店街振興基本調査、ワークショップなどに取り組んだ。

木下 斉(一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス代表理事)

1982年生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業、一橋大学大学院商学研究科修士課程修了、経営学修士。専門は経営を軸に置いた中心市街地活性化、社会起業など。

2008年、熊本市を皮切りに地方都市中心部における地区経営プログラムの全国展開を開始、事業による地域活性化を目指す全国各地のまちづくり会社、商店街と共に一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス設立。

角田朋哉(森ビル株式会社)

1966年生まれ。東京大学都市工学科卒業。

1990年、森ビル株式会社入社。六本木ヒルズ再開発プロジェクトの初動期から竣工に至るまで、様々な角度から十数年間にわたって携わる。その間、基本構想、都市計画協議、施設計画、再開発組合対応、主要施設の契約締結等に携わる。

2004年からは住宅のマーケティングを軸として、国内初となる高級賃貸住宅ブランド(MORI LIVING)を立ち上げる。併せて、六本木ヒルズ以降の新規再開発プロジェクトの基本構想から商品企画を手がける。

2010年から経営企画室に所属。

小椋祥司(フォレスト建築研究所)

1953年生まれ。工学院大学工学部建築学科卒業、同大学院修士課程修了。専門は住宅・建築の企画、設計、設計監理、および地域・景観・都市等の計画、設計など。

大手総合建設会社、一級建築士事務所などを経て、1986年、フォレスト建築研究所一級建築士事務所を開設。都市近郊の歴史的資産活用(エコミュージアムの活用)に関する調査研究や、「福生市の蔵、米軍ハウス、玉川上水、熊川・福生分水等に関する調査研究」がある。

鈴木 寛(文部科学副大臣)

1964年生まれ。東京大学法学部卒、通商産業省入省勤務。

シドニー大学、中央大学講師、慶応義塾大学 SFC 環境情報学部助教授を経て、2001年参議院議員選挙(東京選挙区)初当選。

2007年、再選を果たす。参議院「政治倫理の確立及び選挙制度に関する特別委員会」委員長等を務める。民主党都連幹事長などを歴任。

2009年、9月文部科学副大臣に就任(鳩山内閣)。

2010年、6月菅内閣にて再任。現在に至る。

< 本件に関するお問合せ先 >

福生市役所 生活環境部 シティセールス推進課

担当:北村、寺町

電話:042-551-1740 / FAX:042-552-2622

住所:〒197-8501 東京都福生市本町5番地

福生市「魅力あるまちづくりシンポジウム」広報連絡事務局

株式会社サンユー・コミュニケーションズ

担当:小林、日向

電話:03-5442-1775 / FAX:03-5442-8622

住所:〒108-0073 東京都港区三田4-15-35 三田ヒルクレスト6階